



つばさ教室前の桜田通りの桜

港区東麻布2-1-1 電話：3589-2071

HPアドレス：<http://www1.r3.rosenet.jp/tsubasa/>

## ”真の厳しさ”を理解して導く大切さ

..... 進級に際して、考えること.....

先日、薬師寺住職であった高田好胤（こういん）氏と懇親を深める同じ年の人間国宝浄瑠璃の7代目竹本住太夫（すみたゆう）さんのインタビューを聞き、私は、大変感動しました。竹本住太夫さんが、『人間国宝』受賞の際、高田好胤氏に電話で知らせた内容についてです。そのとき、高田好胤氏は、「そうか、人間国宝を頂いたか。おめでとうよかった。」と言って、しばらく感激で声を詰まらせたそうです。その後3～4日たって、高田氏から手紙が送られてきました。その手紙には『奥深き、語りを技にただただに、来たりて今日の勲し、直に尚々』と書いてあったのだそうです。浄瑠璃界のトップとなったにもかかわらず、なお努力を重ねる必要があると書いて、竹本住太夫さんは、その手紙を読み終わり、「なんとありがたいことだ。真の厳しさを温かい表現で悟らせてくれ心が洗われ、今日から新たな頑張りが湧いてきた」とその時の思いを振り返り、さらに、「人さまに真の厳しさを伝えてくれる人は少ない。」と回想していました。私は、このように解釈を深める竹本住太夫さんも素晴らしいと感動しました。

また、竹本住太夫さんが文楽の舞台を終えて下がってきた時、いきなりお父さんに「上手ぶって語るな」と言って叱られたことがあったそうです。

時は別にして師匠からは、「拍手の音を聞き取れ。」と言われたそうです。これは、太夫としての力量は、お客さんにも高めてもらっている。お客は、芸を金銭で買っているのだから、下手なものは聞きたくない。だから、拍手にその感情が隠されているから、聞き分ける力が必要なのだと言われたと語る。お客の中には「へたくそ、そんな芸で人前に出るのか？」とはっきりと評価を下す人もいた。現在は、「お茶をにごして表現する人が増え、『真の厳しさ』を持って育ててくれる人が少なくなった。良くない傾向だと考えます。」とも語られました。

近年、しつけに関して竹本住太夫さんは、大人たちは子供との摩擦を避けるため、はっきりと諭すことが少なくなり、目先の“和”を重んじることが多くなっていると語られました。真の厳しさには、『心を揺り動かす作用がある』、真正面から、真の導きを見抜き・把握し修正する心が大人に必要なことでした。

私は、大人が“真の厳しさ”の意味を正しく理解し、人間性を磨き、子どもに接していかなければならないと考えさせられました。

進級のこの時期だからこそ、保護者の皆様も、“真の厳しさと子育て”について右文章をも参考に再考していただき今年度をいかに躰、導くかを深めて、お子様と目標設定を明確にしていればと考えます。

### 我が子を非行化させる秘訣12カ条

- 1 幼いときから冷たくあしらうべし。  
スキンシップとか遊び相手になるのは禁物。  
(情緒障害発生法)
- 2 欲しいといえばホイホイと買い与えるべし。  
うるさく細かく親の思うまま世話を焼け。  
(過保護・過干渉のすすめ)
- 3 子供の間違いや失敗は理由をとわず叱りとばせ。  
ひっぱたくことはいっそうよるしい。  
(叱り方の原則の否定)
- 4 食卓のだんらんは家庭から一掃すべし。  
子供の話題や関心など他愛ない。  
(無関心のすすめ)
- 5 子供がどこで何をして遊ぶのが気になるな。  
遊び相手についても全く気にすることなし。  
(不良感染のすすめ)
- 6 できの良い兄弟やよその子と比較して「お前はバカだ、誰々を見習え!」を連発すべし。  
(劣等感の助長法)
- 7 問題解決は感情で処理し、暴力に訴えるか集団の実力を悪用するのが手っ取り早いことを子供に示すべし。  
(短絡的問題解決のすすめ)
- 8 子供が良いことや努力をしてもほめるべからず。  
むしろ、ごまかしや裏切りなど悪事をうまくやったら忘れずほめること。  
(ほめ方の原則の否定)
- 9 子供の前では決して夫婦間の意見を一致させるな。父親は難しい問題からうまく逃げよ。  
(しつけ基準の混乱のすすめ)
- 10 お金こそが人生の最高目標であると身をもって教え込むこと。宗教や精神生活を軽蔑させよ。  
(拝金主義・物質主義の奨励)
- 11 子供の前で法律、警察、学校、役所の悪口をいい、社会のきまりや公共機関への敵意を植え付けよ。  
(反社会性の学習助長法)
- 12 もし、以上のすべてを忘れても、次の一つだけを心がけるならば、あなたの子供の非行化は効率よく進むだろう。  
“いつも夫婦仲悪く暮らし、憎しみ合い、できれば不貞をはたらくこと”  
(モデルの否定)

★出典；元多摩少年院長徳武義さんが紹介し多摩少年院育成会後援会が整理したもの

# 校外学習実施

晴天に恵まれた3月5日(木)、『①普段の家庭生活やつばさ教室の生活ではできない経験をしよう。②港区の様子と航空機にかかわる仕事などを知ろう。③今年度最後の校外行事を通して、仲間と交流を深めよう。』をねらいとして、校外学習を実施しました。

当日は、児童・生徒5名のうち2名がつばさ教室の校外学習の初体験者でした。

今回の校外学習は、貿易センタービルディング展望台(港区浜松町)・羽田空港 JAL メインテナンスセンター(大田区羽田空港)に行きました。

貿易センター展望台では、建物や乗り物10箇所を探す課題のチェックリストを持って一生懸命探す姿が見られました。身近に見ている港区内の建物等も展望台から見ると位置関係に惑わされる場面もありました。

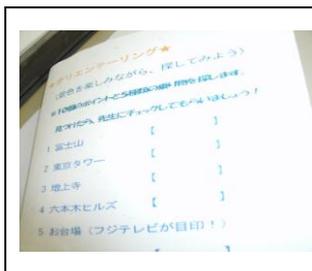
次に羽田空港第一ビル屋上展望デッキでの昼食・休憩です。風も穏やかで太陽の注ぐ中、飛行機の姿を見ながらお弁当を広げ、仲間との語らいに一層楽しさを加えたひと時でした。

羽田空港 JAL メインテナンスセンターでは、空港で働く人々(航空整備士・グラウンドハンドリング・貨物スタッフ・空港スタッフ・客室乗務員・パイロット)について映像を通し説明を聞き・パネル展示や客室乗務員の制服の着用体験等を行いました。

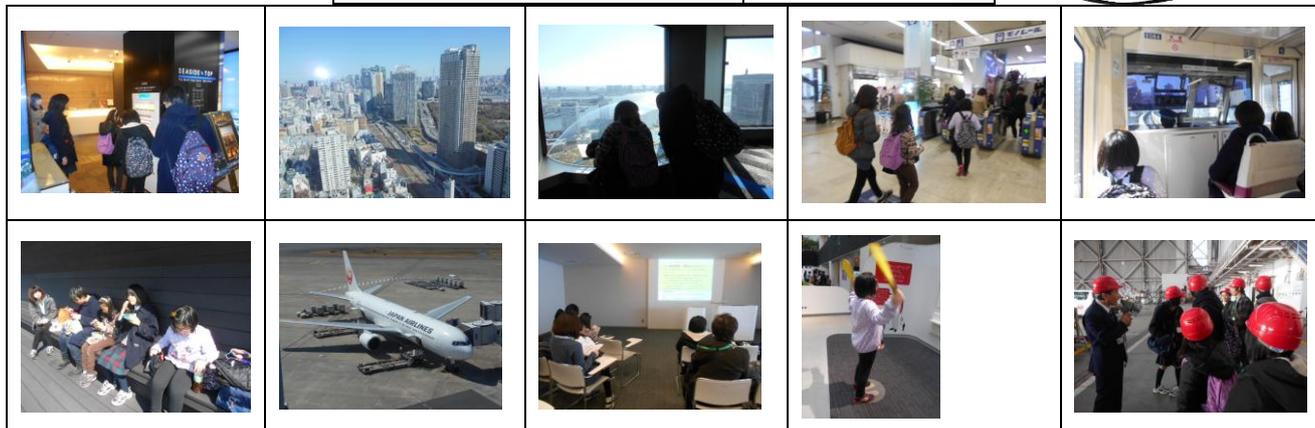
その後、JAL 工場見学で実際に飛行機を整備しているところや、そこで働かれている整備士の方々の仕事を目の当たりにし、メインテナンスセンターでの説明では、実感しきれなかった“安全確保”の重要性を学ぶことができましたようです。

今回の校外学習での新たな体験は、貿易センタービルディング展望台への“子ども1人分の入場券”と東京モノレールでの“子ども1人分の1日乗車券”の券売機での購入、及び1日乗車券の使い方でした。

今回は切符を購入する際、どちらの場所でも一般のお客さまが少なかったことも幸いし、児童・生徒たちは、券売機に表示された文字を把握しながら購入することができました。そして、1日乗車券の使い方もしっかり身に付けることができ、元気につばさ教室に戻りました。



JAL 整備工場  
入館票(終了後  
は記念品)



## 校外学習児童・生徒の感想

校外学習で番最初に行ったところは、展望台でした。そこは、40階も上がりました。そして、とても広くて大きな窓があり、よく景色が見えました。景色は、東京タワー、スカイツリー、富士山などが見えました。あとお父さんが勤めている「築地」も見えました。たくさんの色々な物が見られてすごく楽しかったです。

次に行ったところは、JALの工場見学です。そこで、私は特に印象に残ったのは、つばさは、風の力で動いている。飛行機は、エンジンで動いていることが良く分かりました。あと、整備工場で働いている人が千人ぐらいいることも分かりました。

そのあとに色々な体験をしたり、飛行機内で働く人の制服を着たりして楽しかったです。

次におみやげを買いました。お母さんとお父さんにです。とても喜んでくれました。

いよいよ工場見学です。工場はとても広く、自転車で移動している人や頑張って働いている人が良く見えました。整備工場からは、飛行機が降りてくるところが見えました。

そして、お弁当もおいしかったです。みんなどれでも楽しく思い出ができました。 (小3)

## 蘭草の香りが漂う談話室

つばさ教室には、談話室という和室の教室があります。この教室に入ると児童・生徒のほとんどが「この教室落ち着く」と言います。だからでしょうか授業以外では、特に考えたい時や気分を変えたい時などに活用しています。

このように児童・生徒に愛されている教室ですが、長年使われていたため畳がささくれだっており、畳替えをお願いしていました。

やっと願いが叶い、3月5日(木)8時20分、畳職人さんが来室され、昔ながらの畳表の張替え作業をしてくださいました。今日では、なかなか見ることができない畳替えの光景に、児童・生徒たちも廊下から窓越しに職人さんの仕事ぶりに興味を示しながら見ていました。

この日は、校外学習当日と重なったので帰室した時、廊下や教室内に漂う蘭草の香りに感動していました。



## ネート先生最後の授業

港区公立小学校・中学校で実施されているネイティブティーチャーの英語授業を今年度からつばさ教室にも取り入れられました。

そして、ネート先生が来られました。つばさ教室では、小学生・中学生が一緒に学び、さらに毎回出席者が変わります。このような現状をしっかりとネート先生は把握され、毎回指導教材をいくつか用意し、早めに来室して出席児童・生徒を把握されてから本日の教材選択をされていました。このご配慮により毎回児童・生徒たちは、興味・関心・探求を深め高めていました。

ネート先生の配慮が児童・生徒たちに伝わったようで、児童・生徒たちが感謝を込め、手作りの色紙をプレゼントしました。ネート先生ありがとうございました。



# 卒業生を祝う会開催

3月10日(火)“つばさ教室卒業生を祝う会”を行いました。内容は調理実習  
→昼食→卒業生を祝うセレモニー →ゲームの順で実施しました。

祝う会の飾り付けは、中1の女子生徒が中心になって目的に応じ、創意工夫して  
いました。その出来栄えに他の生徒たちも感動するとともに、祝う会にふさわしい会  
場にと談話室を変身してくれました。



みんなで楽しいひと時を演出する調理実習です。今回は、AB  
Cクッキングスタジオ ブレッド講師の高澤美恵子先生のご指導を得て、グリッシー  
ーニという細長いパンと牛乳プリン作りを行いました。児童・生徒たちは、パン生  
地をこねる、生地を切り分けハムやコーン等をトッピングしながら成形しました。



ほとんどが、パン作り体験が初めてのこともあり、オーブンの中でふくれ上がる  
変化に微笑んで見ていました。パンだけでは、お腹が満たされないといけないとの  
ことで、ミートソーススパゲティを指導員が作りました。会食  
のテーブルも華やかに食欲も増し、さらに話題も加わり楽しい会  
食となりました。



食事の片付け後、“卒業生を祝う会”のセレモニーが行われました。指導員・在室児童・生徒たち一人ひと  
りから贈る言葉がありました。そして、在室生が心を込めて作製した色紙が卒業生へ手渡された後、卒業  
生より、つばさ教室の思い出や進学先での豊富とともに在室生へのお礼の言葉がありました。最後に『カン  
トリーロード』をみんなで歌詞を囃みしめながら聴き、“卒業生を祝う会”セレモニーを閉じました。



いよいよ思い出作り最後のゲームタイムです。初めに“大人対子供の宝探しゲーム”  
を2回戦行いました。先日のお楽しみ会の経験を生かし、宝を隠す担当者も、なかなか  
の工夫を凝らしたのですが、さすが児童・生徒たちのチームワークの良さと機敏な  
行動、感の鋭さには圧巻でした。体も温まるとともに、ますます心も温まったところ  
で、次は児童・生徒同士でのゲームとなり“アップルトゥアップル”を行いました。  
このゲームは、形容詞と名詞を繋げ最もバランスよい結び付きと判断されたカードを  
出した人が勝ちとなるゲームです。各自の考え方や経験知・センスなどにより選択肢  
が異なるので、とてもワクワクするゲームでした。各自のセンスや好みを称え、相互  
理解を深めながら楽しんでいました。



きっと、“つばさ教室卒業生を祝う会”が送られる児童・生徒たちの思い出の1ページに加わったことと  
思います。おめでとうございます。卒業後も  
相談ごとがあった時は、いつでもつばさ教室  
に来てください。

## 退職指導員の紹介

今年度末で退職される指導員を紹介します。

太田指導員・田中指導員・福井指導員・大槻指導員です。

<退職される指導員一同からのメッセージ>

児童・生徒たちとの楽しかった日々の思い出がいっぱいの  
つばさ教室でした。お世話になりました。お元気で。

## 4月の赤羽小学校の体育日

赤羽小学校での体育活動は、

4月8日・15日・22日(水曜日)